



和(輪)のまちだより

発行日 平成 27 年 3 月 20 日
 編集・発行 第四地区住民自治協議会・総務部会
 印刷 有限会社 長野プリントサービス

❖ 第四地区は 諏訪町、西後町、梟町、南梟町、妻科、新田町 の6町で構成されています ❖

第四地区 住民自治協議会 組織改編について



第四地区 住民の皆様へ

第四地区住民自治協議会長 青木 茂

日増しに暖かさを増し、春めいてまいりました。第四地区の住民の皆様におかれましては、住民自治協議会の活動につきまして、平素より深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第四地区住民自治協議会は設立から5年が経過しました。いま第四地区では少子高齢化の進展や役員の担い手不足などの課題が生じています。そこで第四地区住民自治協議会の活動が6年目を迎える平成27年度に向けて、これらの課題を率直に受けとめた上で、今後も持続可能な組織として活動していくために、現行部会のあり方を見直し、活動内容、担い手の確保方法、各町との連携や役割分担などについて見直しを行い、新しい体制をつくることにしました。先日、役員会で組織改編案が無事に承認されました。来年度の総会で議案提出する運びとなっております。

来年度以降、新しい組織体制が機能していくためには、各町自治会との一体性が不可欠です。自治会にはそれぞれの事情があるかと思いますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

第四地区住民自治協議会とは？

自分たちの地域を自分たちでつくっていくために設置された組織です。

諏訪町、西後町、梟町、南梟町、妻科、新田町の6町で構成されています。

各町自治会は住民自治協議会の基礎となる組織です。活動には皆様のご協力が不可欠です。

第四地区住民自治協議会って何をやっているの

主に長野市から依頼されている事務を行っています。それ以外に

- ① 各町が共通して困っていること
- ② 第四地区全体で取り組んだ方が効果的、効率的なこと

などについて事業として行っています。例えばこの5年間の活動でいえば

「スポーツ大会」や「高齢者の方の交流会（いきいき交流会）」などの行事が

該当します。また旧後町小学校の跡地に関する要望も第四地区として行ってきました。

これらの行事は、各町単位で実施することは規模的に難しい面があります。また長野市への要望などは第四地区全体で取り組んだ方が効果的です。高齢化が進展する中、各町単位で事業を行っていくことは、今後ますます困難な面も出てくるかと思えます。地区内で連携していく必要性が増してきています。



↑写真上
いきいき交流会

第四地区住民自治協議会って誰が活動しているの？

会員は、第四地区の住民の皆さんと地区内で活動している団体です。主に各町区長が選任する各町住民を代表する評議委員の方と各団体長が選任する団体代表の評議委員の方が各部会に所属して活動しています。

❖ 組織改編の目的

- 1 住民自治協議会と各自治会（各町）との連携強化
- 2 評議委員数を必要最低限にとどめ（約47%減：現行比）、各町の負担を軽減
- 3 評議委員の位置づけを明確にする

設立から5年間、5部会（総務、環境、安全防災、健康福祉、教育文化）で活動を行ってきました。今回、各部会が実施している事業の全体量などを考慮して、分割・統合し、新たに5部会（総務、環境、安全、スポーツ、文化）を設置します。

また第四地区を構成する各町と連携・協力して活動していくために、5部会のうちの4部会（総務、環境、安全、スポーツ）の部会員は、各町自治会の方に担当していただくようお願いいたします（下表参照）。

❖ 住民自治協議会の新部会構成と各町の役割分担（案）

部会 各町	総務部会	環境部会	安全部会	健康教育部会	福祉文化部会
諏訪町	区長	環境担当1名	安全担当1名	育成会役員	第四地区で 現在活動 している 各団体から 各町から 負担なし
県 町	区長	環境担当1名	安全担当1名	育成会役員	
西後町	区長	環境担当1名	安全担当1名	育成会役員	
南県町	区長	環境担当1名	安全担当1名	育成会役員	
妻 科	区長	環境担当1名	安全担当1名	育成会役員	
新田町	区長	環境担当1名	安全担当1名	育成会役員	

※上記表以外に、第四地区内の4人の副区長が総務以外の4部会に所属します。

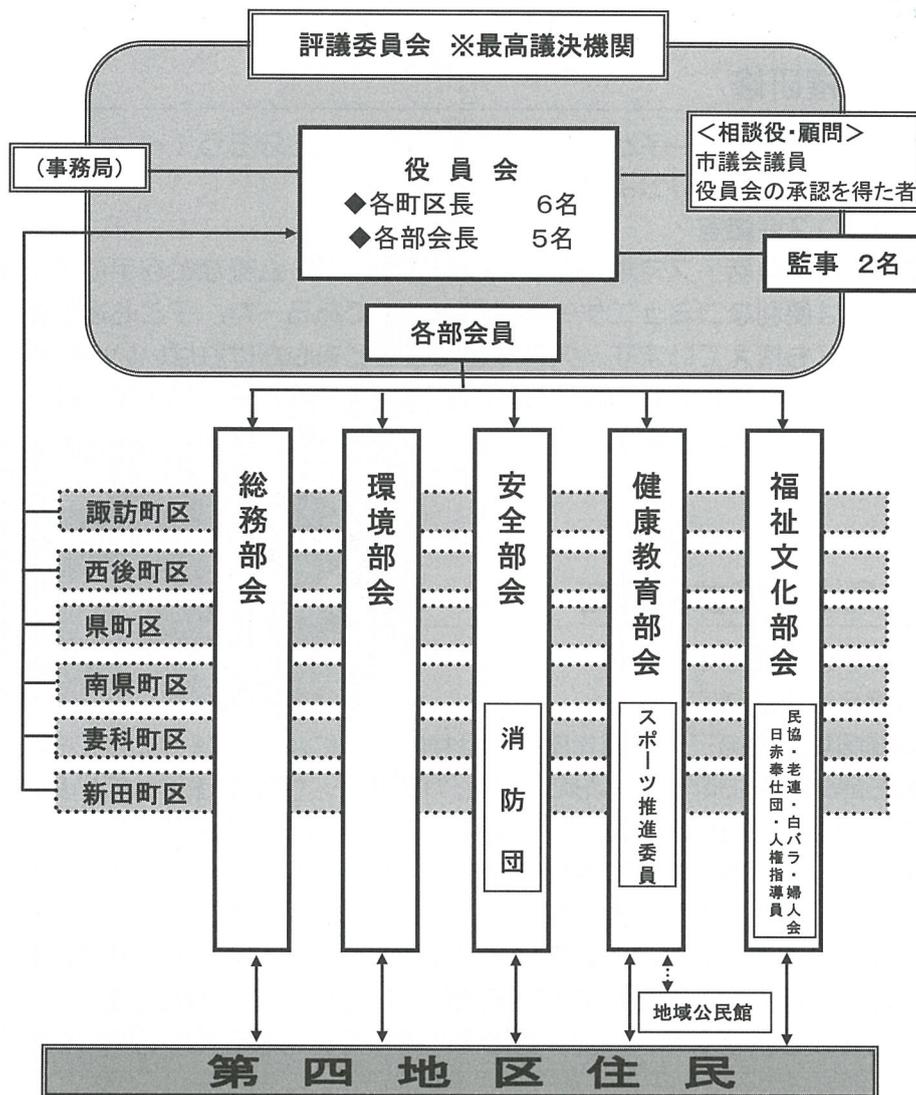
※上記表以外に、消防団から安全部会に、第四地区スポーツ推進委員の方は健康教育部会に、第四地区人権教育指導員の方は福祉文化部会に所属します。

※総務部会は区長に、健康教育部会は育成会役員の方をお願いします。

※環境や安全を担当する方は、各町自治会にとって必要でありますし、住民自治協議会の部会員を兼ねていただくことで、活動の一体性・連動性がうまれます。

※文化部会については、第四地区内で現在活動している各団体の皆さんに担当していただきます。

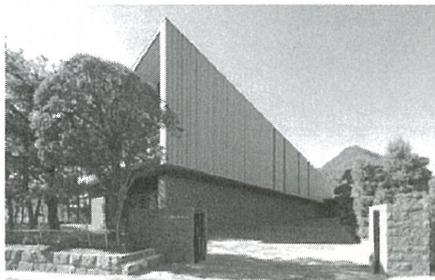
❖平成 27 年度 第四地区住民自治協議会 組織図（案）



※図中の部会構成とは別に、事業内容により、各部会の必要な団体や地区住民が協力

長野市景観賞 ながの百景～魅力ある景観（風景）～

長野市景観賞



八十二銀行研修所（妻科）

長野市景観賞は、景観への関心を高め、より良い景観を創造していただくため、優れた景観の形成に貢献している建築物などを市長が表彰するものです。

たくさんの応募の中から第四地区内の八十二銀行研修所（妻科 写真左）が長野市景観賞に、長野県信用組合第2本店ビル（新田町 写真右）が長野市景観奨励賞に選ばれました。

長野市景観奨励賞



長野県信用組合第2本店ビル（新田町）

写真左 ながの百景 善光寺平用水（妻科）



ながの百景は平成 25 年度から募集していたものです。このたび審議会により、長野らしさを感じられ次世代へ残したい魅力的な風景として、妻科内の「善光寺平用水」の風景が選ばれました。

人権研修と男女共同参画講座を行いました

❖ 第四地区 人権研修

大人が学ぶセーフネット講座 ～子どもをネットトラブルから守ろう！～

12月6日(土) 午後1時30分より

もんぜんぷら座802会議室

今の子ども達は、携帯電話・スマホ・タブレット端末・ゲーム機などを手にする機会が多くなっています。これらは便利なコミュニケーションツールである一方、子ども達が様々なトラブルに巻き込まれるケースも増えています。大人がどんなことを心がければいいのかわかるNTTドコモあんしんインストラクターの方に教わりました。子どもをネットトラブルから守るためには、まずは大人が知ること！が大事だと実感しました。



❖ 第四地区 男女共同参画講座

2月7日(土) 午後1時30分より

もんぜんぷら座802会議室

元信濃毎日新聞論説委員の三島利徳先生に男女共同参画による地域づくりについてお話いただきました。急遽三島先生をお呼びする形になったのですが、快く引き受けていただきました。三島先生本当にありがとうございました。5つのキーワードに沿ってお話いただいたのですが、キーワード「変化」が印象深かったので紹介します。この「変化」とは主に人口減少と高齢化のことを指しています。「人口減少や高齢化は嘆いていても始まらない!」「人のせいにはするな(茨木のり子さんの詩より引用)」という言葉にドキッとしました。人口減少や高齢化という第四地区の現状は率直にうけとめて、また地の利に恵まれている自分達の地域に誇りをもって、市中心部が豊かさと活力を取り戻すよう、男女一緒に取り組んでいきたいと思います。

【広告】